



森の守護神

森ボラ 通信

第217号 2020年6月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター

TEL (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

季節の写真

会員の柿沼英宣さんが
2020年5月に定山溪方面で
撮影した写真を掲載します。

題して

『新緑の定山溪天狗岳と
早春の空』



活動報告

◆ 野幌の森 自然再生活動がスタート

2020年6月4日に「近自然森づくり協会」理事長の岡村俊邦さんを迎えて最初の活動が行われたので概要をお知らせします。

江別市西野幌道有林169林班54, 57小班(面積1.33ha)は、北海道空知総合振興局森林室が管理し、2018年9月の台風により主に人工林の倒木被害が発生して同森林室が倒木の整理を行ってきました。当会は昨年12月に森林ボランティア活動を募集していることを知り、現地調査を行い、3月に覚書を取交して5月からの活動開始を予定していました。その間に支笏湖「ぶんぶんの森」活動でお世話になっている北海道新聞企画室CSR推進担当次長中村雅司さんの推薦を受けて「北海道新聞野生生物基金」の助成が決まりました。

新型コロナウイルスの影響で活動が延び延びになっていましたが、6月4日に岡村先生、森林室からは親子森林教室でご指導を受けている工藤森生室長以下4名、会員18名、入会体験1名が参加して1回目の活動を行いました。大勢の皆様のご支援を受け、人の繋がりに感謝しての活動となりました。

全員で見回りをし、現在の状況を把握してから、岡村先生の講話を聴きました。先生は100年後の森を想像しながら育てよう。稚樹は全ては育てずha当り300~400本とする。萌芽ではなく土から生えている実生苗を優先する。育てる苗の周囲だけをツボ狩りし、防草シートを利用する。5m間隔程度に稚樹を選定し、無い場合は



講話中の岡村先生と後ろは工藤室長

植樹を行う。アカエゾマツ植栽は菌根菌の関係である程度広い面積に植栽する場合に採用。その他のキーワードとして、共生、100%は無理、コスト低減、エコノミー、生態系サービスなど先生の50年余りの経験から導き出されたお話がありました。

空知振興局森林室工藤室長からは、岡村先生の実践方法を民間側が実験的にを行い、今後の育林方法の参考になれば良いです、とのお話をいただきました。

午後からは先生の指導を受けて、3班に分かれ稚樹の選定を行いました。草丈が1m以上あって稚樹を見つけるにはカマで草を刈りながらの作業です。ハルニレ、ハリギリ、ホオノキ、ミズナラそれにトドマツは見つけやすかったが、カンバ類、シナ類、その他の稚樹は見分けがつかず我々の技術的課題が明らかになりました。



胸丈の草を刈り、稚樹を探すB班

また、5mの間隔に将来の1本を決めて他を除去するのは今まで経験した育林方法と異なり、なかなか判断が付き、結局多くの稚樹を残す傾向が見られました。

野幌の現場は針葉樹の風倒木跡地で表土が薄く、竹支柱が刺さらない程の固い粘土質の地盤で水はけが悪いと思われ、適合する樹種に懸念がありますが、樹種の多様性を考慮しながら育樹する必要があります。

今後は稚樹の成長、シカ、ウサギ、ネズミの食害状況を観察しながら、岡村先生の実践現場見学などを通じて、会員の理解を深めて「近自然森づくり」による活動を推進していこうと思います。

(文・樫棒)

◆ 2020 親子森林教室森しり隊第2回活動報告

お待たせしました！ やっと澄川の森での活動がスタート！

いやーっ！待った！待ち焦がれましたよ、オジサンは！ 6月14日（日）に澄川環境林にて第2回親子森林教室がやっと開催されました。隊員11名、保護者14名（なんとお父さんが5名も参加！）、協会員22名の総勢47名とかつてない参加者となりました。本来であれば、4月19日に行われるはずが、新型コロナの意地悪のお陰で延期、延期を繰り返しようやく活動できる事に。それまで事務局では何とか活動を実現すべく、色々な検討を重ねてきました。お陰で清澤隊長の髪の毛が真っ白に！（元からだった（笑））当日はエゾハルゼミの喧しい（かまびすしい）合唱の中で時折薄日が差し込む清々しい森の中で絶好の活動日和となりました。



森の沼でエゾサンショウウオの幼生を観察

朝の受付で手の消毒を行いながらエゾハルゼミ、エゾゼミ、サッポロマイマイを佐野さんが説明。みんな興味深く聞いていました。当然座る場所も家族毎

に間隔を空けて着席。その為、我々ジジ、ババは元気よく立っていました！ 足腰の鍛錬には最高！

朝礼で、今日のスケジュールと活動担当者の紹介。それと密集を避ける為に4班に別れて班編成を行い、間隔を空けてのラジオ体操を終えて、いよいよ活動開始です。

最初は田山さんの指導でバーニングペンを使ってのネームプレート作りです。みんな家で時間が増えたせいか、どれも力作揃い！ センスが良くて自分でも欲しくなっていました。去年から参加している継続隊員はホダ木にする原木をリヤカーで運ぶ結構ハードな作業に取り組みました。

次に樫棒さんの説明による播種（はしゅ）体験です。ハルニレの種が採れなかったのでオヒョウニレとエゾヤマザクラの種を班毎に苗畑に蒔いていきました。秋には途中経過を観察予定です。

午前の部最後は酒井長老の話聞きながらの「森歩き」です。五感を使って森を感じてもらう体験では、ミズナラの大切さや聴診器で木の音を聞いたり、苦いキハダの樹皮を味わったり、エゾサンショウウオやエゾアカガエルの幼生（オタマジャクシ）を観察したり、葉っぱの表裏の違いや松



お父さん、お母さんと一緒にホダ木原木の穴開け

葉の匂いを嗅いだり等々盛沢山の内容でした。途中で「木の音を聞く」（フィンランドの童話）の話があり、リョウセイ隊員がとても気持ちを込めて朗読してくれました。

昼食後の休み時間にはワラビを採ったり、シイタケを採る体験をして楽しそうでした。

午後の部は、荒舩さんからキノコの話聞いた後、4班に別れてキノコの植菌体験です。保護者の方も全員参加でホダ木の原木にドリルで穴を開け、シイタケとナメコの菌を植えていきました。小さい子がドリルなんて危

ないと思っていたら、大人顔負けの手際良さでビックリしました。

当初予定より30分以上押ししてしまいましたが、最後のまとめをして無事終了しました。希望者にはエゾヤマザクラのポット苗のお土産付きです。

今日一日を振り返ると、私を含め協会の方たちはいつも以上にコロナ対応で気を使って疲れたんじゃないでしょうか？でも遠くない将来、我々が土に帰る頃に社会人となるであろう未来ある「森しり隊員」達が、少しでも自然の大切さを肌で感じてもらえる機会を作ることができたと、ジジ、ババはその達成感を糧にまた活動を頑張っていきましょうね！

そして、「森しり隊員」達よ！ 餡蜜は無いけど3密も無い澄川の森へまた来いよ！（文・松藤）

◆ 澄川都市環境林で春の清掃活動を実施

5月18日恒例の春季清掃活動を参加者18名で2班に別れて行いました。清掃場所は澄川都市環境林の東側を南北に走る市道澄川厚別滝野連絡線に沿った、光塩学園西岡キャンパス向かいから自衛隊演習場向かいの火山灰採取場までの道添い約2.1kmです。札幌市が現在の環境林の北側に隣接した北林地約20haを取得したことで、今回から約600m延びました。

ゴミを入れるボランティア袋と大型廃棄物を引き上げる為のロープを持っていざ戦場へ。コロナを心配しながら埃まみれの清掃は気の進まない作業でしたが、マスクをして汗と共に2時間の悪戦



苦闘でした。不法廃棄され易いポイントは変わることなく、人目に付きづらく急な崖になっているポイントは大量の生活廃棄物や大型粗大ごみの山でした。豊平・南清掃事務で集計した“ゴミ”は大小タイヤ10本（うちホイール付き5本）、テレビ4台、その他の回収量は約1.5トンと報告を受けました。これからも札幌市みどりの管理課と連携して不法投棄禁止の旗や看板を設置して防止に努めて行きます。豊平・南清掃事務の皆さんにはお世話になりました。（文・事務局）

■ 澄川の自然 10

シロバナエンレイソウ(白花延齡草)・ユリ科

高さ20～40cm位の多年草。茎は1～3本位でまっすぐに立つ。澄川では中流橋辺りの沢沿いに下向きに静かに立っています。

エンレイソウ属の主なもの、エンレイソウ、シロバナエンレイソウ、オオバナエンレイソウの3種があります。この3種類の間で雑種が出来やすく、ヒダカエンレイソウ、トカチエンレイソウ、シラオイエンレイソウがあります。（文・西野(澄)）



写真/三橋

■ 今月の幹事会

出席者(6月10日):市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・佐野・三橋・矢澤・矢野

1. 2020年7,8月スケジュール(7月幹事会7月8日(水)):澄川南小自然学習コロナ対応で当面中止。
2. 2020年5月会計報告:サポートホット基金、道新野生生物基金から入金。報告を了承。
3. 親子森林教室:3蜜を避けながら少人数の班編成で行い、保護者の協力を要請。8/23教室追加。
4. 国土緑化推進機構(緑推)のコロナ対策ガイドライン対応:2020年4月15日策定の指針に追加。
5. 森林・山林多面関係:活動日数は少ないが参加者が多い傾向。6/24,25モニタリング説明会2名参加。
6. 野幌道有林自然再生事業:6/4第1回活動を実施。詳細は本文参照。
7. 報告
 - ・ 5/13水質調査実施:水質の傾向は昨年度と変わらず。カワニナの確認できず。
 - ・ 今冬の澄川冬季整理伐対象木調査結果:E-7区、D-2区にて実施予定。
 - ・ 北海道種苗組合青年部寄贈苗の使用先:アカエゾマツ(烏柵舞)、トマツ(水明)、ミズナラ(野幌)
8. 現場対応他
 - ・ 澄川備品管理について:台帳整備。借用管理BOX・借用カード設置。
9. その他
 - ・ 熊動態調査:5/19澄川環境林にヘアトラップ設置(札幌市共生課)
 - ・ 2020年度会費未納者対応:早めに納入願を送付して、会員名簿の管理を行う。
 - ・ 薪配布先:月寒公園、旭山公園を予定。7/13現地確認に澄川来林予定。
 - ・ 今後の活動予定:コロナ状況を考慮しながら対応。7月幹事会で今後の方向性を確認。

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
5月18日(月)	澄川	21	清掃活動、ホダギ作成、毎木調査
5月21日(木)	野幌	—	コロナウィルス対策として活動中止
5月23日(土)	澄川	—	コロナウィルス対策として活動中止
5月25日(月)	澄川	20	毎木調査、植菌、樹名板取付
5月27,28日	CGC 烏柵舞の森	—	コロナウィルス対策として活動中止
6月1日(月)	澄川	—	コロナウィルス対策として活動中止
6月4日(木)	野幌	18	見回り、岡村先生講話、稚樹調査、標準地設定
6月8日(月)	澄川	18	毎木調査、植菌、作業道草刈、親子森林教室準備
6月10日(水)	ラルズ生活研究C	10	幹事会
6月11,12日	支笏湖水明郷の森	—	コロナウィルス対策として活動中止
6月14日(日)	澄川	21	第2回親子森林教室